



平成 20 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況

平成 20 年 1 月 31 日

上場会社名 アルファグループ株式会社 上場取引所 JASDAQ
 コード番号 3322 URL <http://www.alpha-grp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 吉岡 伸一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 猪野 由紀夫 TEL (03) 5469 - 7300

(百万円未満切捨)

1. 平成 20 年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 12 月 31 日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	21,007	34.0	20		3		15	
19年3月期第3四半期	15,683	68.8	48		47		98	
19年3月期	23,313		193		259		40	

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	534	53		
19年3月期第3四半期	3,391	29		
19年3月期	1,377	63	1,351	16

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
20年3月期第3四半期	6,808		1,781		25.7	58,963	78	
19年3月期第3四半期	5,727		1,598		27.8	54,366	45	
19年3月期	6,944		1,779		25.4	59,576	01	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第3四半期	202	188	686	1,055
19年3月期第3四半期	244	562	1,060	951
19年3月期	42	996	1,015	759

2. 配当の状況

	1株当たり配当金	
	第3四半期末	
(基準日)		
	円	銭
19年3月期第3四半期		
20年3月期第3四半期		

3. 平成 20 年 3 月期の連結業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日) 【参考】

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	28,700	23.1	186	3.8	170	34.4	24	40.1	811	14

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
 新規 1社 (社名 株式会社A・R・M)
 除外 2社 (社名 アルファヒューマン株式会社、ものづくりアルファ株式会社)
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有
- (注) 詳細は、7ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

全般的概況

当第 3 四半期（平成 19 年 4 月 1 日から平成 19 年 12 月 31 日まで）の我が国経済は、企業収益の改善や、雇用環境の改善が進み、景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、原油価格の高騰や、株安・円高基調の影響等、景気後退への懸念もあり、依然として厳しい環境の下にあります。

このような経済情勢の中、当社グループは、モバイル事業、オフィスサプライ事業、IT 事業、人材事業を軸に事業の拡大に注力してまいりました。

モバイル事業におきましては、競合販売店との差別化を図り競争優位性を確保すべく、自社ブランドの構築に注力し、積極的な営業活動に取り組みました。その中で当社は、平成 19 年 10 月に営業・販売支援サービス業の株式会社バックスグループと合同で「携帯電話販売スタッフの育成」を主たる目的とした携帯販売店舗を開店し、充実したサービスの拡大に努めてまいりました。

オフィスサプライ事業におきましては、カウネット登録顧客等への積極的な拡販事業の展開に務めると共に、当社グループ保有のカウネット最終顧客に対し、「新規顧客獲得の支援」を目的に企業情報データベースを提供するサービスを開始しております。

IT 事業におきましては、企業ホームページの集客を効率的にサイトに誘導できる検索エンジン最適化対策として完全成果報酬型 SEO サービス「集客UPどっと混む」のWEBサイトを開設し、利用顧客の獲得に注力するため、営業組織の拡充に取り組みました。

また、人材事業におきましては、企業はコスト削減における経営効率化を推進するため、人材派遣需要は引き続き高まっており継続成長が見込まれる中、積極的に事業展開を進め、新規取引先の開拓及び雇用確保に努めてまいりました。

この結果、当第 3 四半期の業績は、売上高 210 億 7 百万円（前年同期比 34.0%増）、営業利益 20 百万円（前年同期 営業損失 48 百万円）、経常利益は 3 百万円（前年同期 経常損失 47 百万円）、四半期純損失は 15 百万円（前年同期 四半期純損失 98 百万円）となりました。

セグメント別概況

< モバイル事業 >

モバイル事業の属する移動体通信業界におきましては、各通信事業者が多数の携帯電話端末を新たに販売するなどの積極的な施策を展開しました。

社団法人電気通信事業者協会推計による当第 3 四半期における携帯電話の加入契約数は、平成 19 年 12 月末で 1 億 52 万件と、平成 19 年 3 月末より約 381 万件（前期末比 3.9%増）増加しました。キャリア別純増数では、平成 19 年 3 月末より NTT ドコモ約 53 万件（純増シェア 13.9%）、au + ツーカー約 137 万件（純増シェア 35.9%）、ソフトバンク約 171 万件（純増シェア 44.8%）となりました。

このような環境の中で、当社グループにおきましては、引き続き高い全国シェアを占める関東圏に注力し、将来の安定的収益の確保及び売れ筋端末の確保、販売店支援のための営業人員の採用・育成、販売チャネルの拡充、店舗の開拓及び代理店への販売支援を積極的に行いました。

平成 19 年 12 月の遺失物法の改正に伴い、当社において個人情報記録されている携帯電話端末の紛失回収サービス「マイブーメラン」を開始したこと、さらには携帯電話における GPS (Global Positioning System: 全地球測位システム) 機能と地図を利用したクイズの SNS サービス「x a i r (エックスエアー)」の運営を開始し、サービスの拡大に取り組みました。

また、立地条件のよい新規物件の開拓や既存店舗を含め、自社ブランドである「アルファモバイル」の店名でオープン及びリニューアルすることにより競争優位性を確保すべく、自社ブランドの構築に注力するとともに不採算店舗の撤退を行っております。

この結果、平成 19 年 12 月末の販売台数は 28 万台 (前年同期比 9.4%減) を確保しましたが、各キャリアの販売体系が大きく見直され、キャリア間競争は激化する中、NTTドコモにおいては目標の販売台数に達成することができず、また営業拡大に伴う人件費や販売費の発生により営業損失となりました。

この結果、当第 3 四半期の売上高は 129 億 15 百万円 (前年同期比 46.4%増)、営業損失 83 百万円 (前年同期 営業利益 1 億 96 百万円) となりました。

< オフィスサプライ事業 >

オフィスサプライ事業の属するオフィス通販分野は、原材料価格の高騰、オフィス通販分野での競争激化、消耗品購買チャネルの多様化等厳しい事業環境が続いております。

一方で「カウネット」の広告宣伝活動が強化され、TV コマーシャルに有名タレントを起用した「もっとやさしく、もっと楽しくカウネット」キャンペーンを展開し、新規顧客の獲得や既存顧客の利用促進が行われました。このような中で、当社グループにおきましては、渋谷 (東京都) 和歌山、愛媛のコールセンターにおいて、オフィス通販「カウネット」の案内業務を中心に、カウネット利用法人顧客の獲得に注力しました。

その結果、登録済の累計法人顧客数は平成 19 年 3 月末より約 18 万件増加し、平成 19 年 12 月末現在実働する事業所は 50 万事業所を有しています。

また、当社グループ保有のカウネット最終顧客に対し、二次商材としてリサイクルトナーの販売展開を各コールセンターにおいて積極的に行い、更に、平成 19 年 6 月より、企業情報データベースを提供するサービスを開始しております。

この結果、当第 3 四半期の売上高は 43 億 25 百万円 (前年同期比 19.0%増)、営業利益 58 百万円 (前年同期 営業損失 1 百万円) となりました。

< IT 事業 >

IT 事業におきましては、平成 19 年 7 月に企業ホームページの集客を効率的にサイトに誘導できる検索エンジン最適化対策として完全成果報酬型 SEO サービス「集客UPどっと混む」のWEBサイトを開設し、利用顧客の獲得に注力するため、営業組織の拡充に取り組みました。

当第 3 四半期は、SEO サービス販売において営業拡大に寄与したことやシステム開発の受託案件が当初計画より順調に開発できたことで、当第 3 四半期の売上高は 5 億 24 百万円 (前年同期比 276.1%

増) 営業利益 62 百万円 (前年同期 営業損失 53 百万円) となりました。

< 通信サービス事業 >

固定通信市場におきましては、固定電話と移動通信の融合、あるいは通信と放送の融合など、事業者間の顧客獲得に向けたサービス競争が新たな局面を迎えております。

このような環境の中で、格安国際電話サービス「ワールドリンク」におきましては、前期に引き続き、顧客継続率の向上のため、競合他社の料金値下げに追随したため、売上高に影響を及ぼし、一方で、代理店への手数料及び顧客開拓の費用が発生しました。

この結果、当第 3 四半期の売上高は 4 億円 (前年同期比 125.5% 増) 営業損失 13 百万円 (前年同期 営業損失 16 百万円) となりました。

< 人材事業 >

人材事業におきましては、企業業績は回復基調ではあるものの、コスト削減による経営効率化を推進し、固定費を抑制しているため、採用においても、正社員を単純に採用するのではなく、パート、アルバイト、派遣社員等と採用活動も多様化する傾向にあります。

当社グループの派遣事業におきまして、機械、電気、電子、情報事業の好況により、技術者派遣が成長を遂げており、また、顧客の販売支援を主とした営業派遣も順調に売上を拡大しております。

この結果、当第 3 四半期の売上高は 27 億 29 百万円 (前年同期比 1.7% 減) 営業損失 1 百万円 (前年同期 営業損失 81 百万円) となりました。

< その他事業 >

その他事業におきましては、固定電話回線等の契約申込取次ぎ等を行っております。

当第 3 四半期の売上高は 1 億 12 百万円 (前年同期比 14.9% 減) 営業損失 1 百万円 (前年同期 営業損失 91 百万円) となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債、純資産の状況

当第 3 四半期末の資産は 68 億 8 百万円で、前連結会計年度末に比べ 1 億 35 百万円の減少となりました。主な増加は、現金及び預金の増加 2 億 95 百万円であり、主な減少は、たな卸資産の減少 6 億 33 百万円であります。

負債は 50 億 26 百万円で、前連結会計年度末に比べ 1 億 38 百万円の減少となりました。主な増加は、短期借入金の増加 7 億 50 百万円であり、主な減少は、買掛金の減少 7 億 4 百万円であります。

純資産は 17 億 81 百万円で、前連結会計年度末に比べ 2 百万円の増加となりました。主な増加は、少数株主持分の増加 16 百万円であり、主な減少は、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少 15 百万円であります。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の 25.4% から 25.7% となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第 3 四半期におけるキャッシュ・フローについては、営業活動により 2 億 2 百万円減少し、投資活動により 1 億 88 百万円減少し、財務活動により 6 億 86 百万円増加し、その結果、現金及び現金同等物は前連結会計年度末より 2 億 95 百万円の増加となり、当第 3 四半期末残高は 10 億 55 百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、2 億 2 百万円となりました。これは、たな卸資産の減少 6 億 33 百万円、のれん償却額 1 億 3 百万円等の増加要因に対し、仕入債務の減少 7 億 4 百万円、法人税等の支払額 2 億 29 百万円等の減少要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1 億 88 百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出 78 百万円、差入保証金の差入による支出 1 億円等の減少要因があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得た資金は、6 億 86 百万円となりました。これは主に、短期借入金 7 億 50 百万円の純増加等の増加要因に対し、長期借入金の返済による支出 75 百万円等の減少要因があったことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、第 3 四半期の業績が計画どおりに進捗しているため、平成 19 年 11 月 19 日発表の業績予想値を変更しておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規 1 社（社名 株式会社 A・R・M）

除外 2 社（社名 アルファヒューマン株式会社、ものづくりアルファ株式会社）

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

税金費用の計算等については、簡便な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

（有形固定資産の減価償却の方法）

法人税法の改正に伴い、平成 19 年 4 月 1 日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更に伴う損益に与える影響は軽微であります。

（追加情報）

法人税法の改正に伴い、平成 19 年 3 月 31 日以前に取得した資産については、改正前の法人税法に基づく減価償却の方法の適用により取得価額の 5 % に到達した連結会計年度の翌連結会計年度より、取得価額の 5 % 相当額と備忘価額との差額を 5 年間にわたり均等償却し、減価償却費に含めて計上しております。

なお、この変更に伴う損益に与える影響は軽微であります。

（短期解約損失引当金）

携帯電話契約者の短期解約により、当社と代理店委託契約を締結している電気通信事業者及び一次代理店に対して返金すべき手数料の支払に備えるため、返金実績額に基づき、短期解約に係る手数料の返金見込額を計上しております。

5. (要約)四半期連結財務諸表

(1) (要約)四半期連結貸借対照表

(単位：千円、%)

区分	前年同四半期末 平成19年3月期 第3四半期末	当四半期末 平成20年3月期 第3四半期末	増減		(参考)前期末 平成19年 3月期末
	金額	金額	金額	増減率	金額
(資産の部)					
流動資産					
1 現金及び預金	951,428	1,055,042	103,613	10.9	759,879
2 受取手形及び売掛金	1,450,721	2,001,209	550,488	37.9	1,808,199
3 たな卸資産	1,073,385	1,091,172	17,787	1.7	1,724,588
4 繰延税金資産	24,320	25,208	887	3.7	39,733
5 未収入金	262,849	285,457	22,607	8.6	329,476
6 立替金	74,121	57,463	16,657	22.5	115,520
7 その他	142,820	216,925	74,104	51.9	122,617
貸倒引当金	19,822	15,504	4,318	21.8	18,789
流動資産合計	3,959,824	4,716,974	757,150	19.1	4,881,227
固定資産					
1 有形固定資産					
(1) 建物	135,516	145,839	10,323	7.6	118,901
(2) その他	42,999	34,777	8,221	19.1	36,973
有形固定資産合計	178,515	180,617	2,101	1.2	155,874
2 無形固定資産					
(1) のれん	537,054	376,700	160,353	29.9	480,625
(2) その他	80,676	64,286	16,390	20.3	76,807
無形固定資産合計	617,731	440,987	176,744	28.6	557,432
3 投資その他の資産					
(1) 投資有価証券	101,821	505,385	403,564	396.3	504,545
(2) 長期貸付金	62,363		62,363		35,879
(3) 繰延税金資産	146,357	171,651	25,294	17.3	117,491
(4) 差入保証金	661,475	742,513	81,037	12.3	670,736
(5) その他	38,499	94,669	56,169	145.9	62,914
貸倒引当金	39,402	44,054	4,652	11.8	42,037
投資その他の資産合計	971,116	1,470,166	499,050	51.4	1,349,530
固定資産合計	1,767,363	2,091,770	324,407	18.4	2,062,837
資産合計	5,727,187	6,808,745	1,081,558	18.9	6,944,065

区分	前年同四半期末	当四半期末	増減		(参考)前期末
	平成19年3月期 第3四半期末	平成20年3月期 第3四半期末	金額	増減率	平成19年 3月期末 金額
(負債の部)					
流動負債					
1 買掛金	1,164,826	1,333,571	168,745	14.5	2,038,423
2 短期借入金	1,800,800	2,400,000	599,200	33.3	1,650,000
3 1年以内返済予定長期 借入金		300,800	300,800		300,800
4 未払金	200,305	193,885	6,420	3.2	253,361
5 未払法人税等	26,276	11,210	15,065	57.3	169,790
6 賞与引当金	20,014	22,867	2,853	14.3	40,223
7 短期解約損失引当金		6,300	6,300		
8 その他	244,645	373,169	128,524	52.5	269,958
流動負債合計	3,456,867	4,641,804	1,184,937	34.3	4,722,557
固定負債					
1 長期借入金	565,600	264,800	300,800	53.2	340,400
2 その他	106,661	120,178	13,517	12.7	101,890
固定負債合計	672,261	384,978	287,282	42.7	442,290
負債合計	4,129,128	5,026,783	897,654	21.7	5,164,847
(純資産の部)					
株主資本					
1 資本金	507,173	524,203	17,030	3.4	523,103
2 資本剰余金	466,775	483,805	17,030	3.6	482,705
3 利益剰余金	859,542	982,206	122,664	14.3	998,028
4 自己株式	242,293	242,293			242,293
株主資本合計	1,591,197	1,747,922	156,724	9.8	1,761,543
新株予約権		3,600	3,600		3,600
少数株主持分	6,861	30,439	23,578	343.7	14,073
純資産合計	1,598,058	1,781,962	183,903	11.5	1,779,217
負債純資産合計	5,727,187	6,808,745	1,081,558	18.9	6,944,065

(2) (要約)四半期連結損益計算書

(単位：千円、%)

区分	前年同四半期 平成19年3月期 第3四半期	当四半期 平成20年3月期 第3四半期	増減		(参考)前期 平成19年3月期
	金額	金額	金額	増減率	金額
売上高	15,683,171	21,007,760	5,324,589	34.0	23,313,286
売上原価	10,137,787	13,523,293	3,385,505	33.4	14,801,593
売上総利益	5,545,383	7,484,467	1,939,084	35.0	8,511,693
販売費及び一般管理費	5,593,696	7,464,146	1,870,450	33.4	8,318,441
営業利益又は 営業損失()	48,313	20,321	68,634		193,251
営業外収益	14,044	6,512	7,532	53.6	90,144
営業外費用	13,620	23,742	10,121	74.3	23,865
経常利益又は 経常損失()	47,889	3,090	50,980		259,531
特別利益	1,810	1,964	154	8.6	2,120
特別損失	12,167	51,926	39,759	326.8	22,826
税金等調整前当期純利益 又は四半期純損失()	58,246	46,870	11,375		238,824
税金費用	38,953	38,015	76,969		190,325
少数株主利益	1,198	6,966	5,767	481.4	8,410
当期純利益又は 四半期純損失()	98,398	15,821	82,577		40,087

(3) (要約)四半期連結株主資本等変動計算書

前第 3 四半期連結会計期間(平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 12 月 31 日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年3月31日残高	497,498	457,100	957,940	242,293	1,670,245
第3四半期中の変動額					
新株の発行	9,675	9,675			19,350
四半期純損失()			98,398		98,398
株主資本以外の項目の当四半期中の変動額(純額)					
第3四半期中の変動額合計	9,675	9,675	98,398		79,048
平成18年12月31日残高	507,173	466,775	859,542	242,293	1,591,197

	新株予約権	少数株主持分	純資産合計
平成18年3月31日残高		5,662	1,675,908
第3四半期中の変動額			
新株の発行			19,350
四半期純損失()			98,398
株主資本以外の項目の当四半期中の変動額(純額)		1,198	1,198
第3四半期中の変動額合計		1,198	77,850
平成18年12月31日残高		6,861	1,598,058

当第 3 四半期連結会計期間（平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成19年 3 月31日残高	523,103	482,705	998,028	242,293	1,761,543
第 3 四半期中の変動額					
新株の発行	1,100	1,100			2,200
四半期純損失()			15,821		15,821
株主資本以外の項目の当四半期中の変動額(純額)					
第 3 四半期中の変動額合計	1,100	1,100	15,821		13,621
平成19年12月31日残高	524,203	483,805	982,206	242,293	1,747,922

	新株予約権	少数株主持分	純資産合計
平成19年 3 月31日残高	3,600	14,073	1,779,217
第 3 四半期中の変動額			
新株の発行			2,200
四半期純損失()			15,821
株主資本以外の項目の当四半期中の変動額(純額)		16,366	16,366
第 3 四半期中の変動額合計		16,366	2,744
平成19年12月31日残高	3,600	30,439	1,781,962

前連結会計年度（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年3月31日残高	497,498	457,100	957,940	242,293	1,670,245
連結会計年度中の変動額					
新株の発行	25,605	25,605			51,210
当期純利益			40,087		40,087
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)					
連結会計年度中の変動額合計	25,605	25,605	40,087		91,297
平成19年3月31日残高	523,103	482,705	998,028	242,293	1,761,543

	新株予約権	少数株主持分	純資産合計
平成18年3月31日残高		5,662	1,675,908
連結会計年度中の変動額			
新株の発行			51,210
当期純利益			40,087
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	3,600	8,410	12,010
連結会計年度中の変動額合計	3,600	8,410	103,308
平成19年3月31日残高	3,600	14,073	1,779,217

(4) (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前年同四半期 平成 19 年 3 月期 第 3 四半期	当四半期 平成 20 年 3 月期 第 3 四半期	(参考)前期 平成 19 年 3 月期
区 分	金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
1 税金等調整前当期純利益 (は税金等調整前四半期純損失)	58,246	46,870	238,824
2 減価償却費	44,907	45,979	62,704
3 のれん償却額	147,405	103,925	207,802
4 減損損失		12,097	
5 貸倒引当金の増加額・減少額()	1,166	1,269	435
6 賞与引当金の増加額・減少額()	3,532	17,356	16,676
7 短期解約損失引当金の増加額・減少額 ()		6,300	
8 受取利息及び受取配当金	4,872	3,778	6,303
9 支払利息	11,245	22,607	17,352
10 固定資産売却益		160	
11 固定資産除却損	7,619	15,702	17,608
12 代理店事故負担金		21,131	
13 投資有価証券売却益	1,810	798	2,120
14 投資有価証券売却損	245		245
15 売上債権の減少額・増加額()	20,557	180,402	374,229
16 たな卸資産の減少額・増加額()	622,242	633,415	1,273,445
17 未収入金の減少額・増加額()	93,672	44,521	
18 営業保証金の減少額・増加額()	37,177		41,170
19 仕入債務の増加額・減少額()	51	704,851	873,545
20 未払金の増加額・減少額()	30,195	60,162	30,946
21 預り保証金の増加額・減少額()	11,200	31,100	
22 その他	47,558	146,225	100,236
小 計	341,642	67,357	48,548
23 利息及び配当金の受取額	3,608	3,808	3,978
24 利息の支払額	11,561	23,418	17,914
25 法人税等の支払額	133,866	229,082	133,939
26 法人税等の還付額	238,463		238,463
27 代理店事故負担金の支払額		21,131	
営業活動によるキャッシュ・フロー	244,998	202,466	42,039

	前年同四半期 平成 19 年 3 月期 第 3 四半期	当四半期 平成 20 年 3 月期 第 3 四半期	(参考)前期 平成 19 年 3 月期
投資活動によるキャッシュ・フロー			
1 有価証券の償還による収入	150,000		150,000
2 有形固定資産の取得による支出	51,527	78,753	59,616
3 有形固定資産の売却による収入		2,337	
4 ソフトウェアの取得による支出	5,817	3,968	7,317
5 投資有価証券の取得による支出	103,525	950	908,401
6 投資有価証券の売却による収入	6,749	1,778	408,829
7 連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	485,549		485,549
8 営業譲受に伴う支出	43,503	12,811	47,774
9 差入保証金の差入による支出	102,452	100,145	119,741
10 差入保証金の解約による収入	81,205	25,682	85,240
11 その他	8,018	21,652	11,874
投資活動によるキャッシュ・フロー	562,439	188,484	996,204
財務活動によるキャッシュ・フロー			
1 短期借入金の増減額	600,000	750,000	550,000
2 長期借入金の借入による収入	500,000		500,000
3 長期借入金の返済による支出	33,600	75,600	58,800
4 社債の償還による支出	25,000		25,000
5 少数株主への株式の発行による収入		9,400	
6 株式の発行による収入	19,350	2,200	48,785
7 その他			896
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,060,750	686,000	1,015,881
現金及び現金同等物に係る換算差額		112	47
現金及び現金同等物の増加額・減少額()	253,312	295,162	61,763
現金及び現金同等物の期首残高	628,116	759,879	628,116
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	70,000		70,000
現金及び現金同等物の期末残高	951,428	1,055,042	759,879

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

平成19年3月期第3四半期(自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)

	モバイル 事業 (千円)	オフィス サプライ 事業 (千円)	IT事業 (千円)	通信 サービス 事業 (千円)	人材事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高及び 営業損益									
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	8,821,484	3,636,283	139,552	177,539	2,776,378	131,933	15,683,171		15,683,171
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	54	9,676	6,562	2,695	655	463	20,107	(20,107)	
計	8,821,539	3,645,959	146,114	180,234	2,777,034	132,396	15,703,278	(20,107)	15,683,171
営業費用	8,625,141	3,647,556	199,554	196,357	2,858,599	224,381	15,751,591	(20,107)	15,731,484
営業利益又は 営業損失()	196,397	1,597	53,439	16,123	81,565	91,985	48,313		48,313

(注) 1 事業区分は、商品、役務の種類・性質を考慮して区分しております。

2 各事業の主な商品等

- (1) モバイル事業.....移動体通信端末の販売及び通信サービスの契約申込の取次ぎ。
- (2) オフィスサプライ事業.....最終顧客への事務用品等の通信販売の取次ぎ。
- (3) IT事業.....ITソリューションサービス「小売パートナー」の販売等。
- (4) 通信サービス事業.....格安電話サービス事業。
- (5) 人材事業.....物流、建築、イベント関連等の短期軽作業の請負、派遣等。
プロモーションの企画立案、運営管理等。
- (6) その他事業.....Bフレックス及びおとくラインの契約申込の取次ぎ。

平成20年 3 月期第 3 四半期(自 平成19年 4 月 1 日 至 平成19年12月31日)

	モバイル 事業 (千円)	オフィス サプライ 事業 (千円)	I T事業 (千円)	通信 サービス 事業 (千円)	人材事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高及び 営業損益									
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	12,915,396	4,325,625	524,822	400,342	2,729,235	112,337	21,007,760		21,007,760
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	172	9,219	2,212	1,272	639	4,499	18,016	(18,016)	
計	12,915,569	4,334,844	527,034	401,615	2,729,875	116,837	21,025,777	(18,016)	21,007,760
営業費用	12,998,962	4,276,185	464,798	415,266	2,731,515	117,870	21,004,598	(17,158)	20,987,439
営業利益又は 営業損失()	83,392	58,658	62,235	13,651	1,640	1,032	21,178	(857)	20,321

(注) 1 事業の区分は、商品、役務の種類・性質を考慮して区分しております。

2 各事業の主な商品等

- (1) モバイル事業.....移動体通信端末の販売及び通信サービスの契約申込の取次ぎ。
- (2) オフィスサプライ事業.....最終顧客への事務用品等の通信販売の取次ぎ。
- (3) I T事業.....S E Oサービスの販売、システム受託開発、
I Tソリューションサービス「小売パートナー」の販売等。
- (4) 通信サービス事業.....格安電話サービス事業。
- (5) 人材事業.....物流、建築、イベント関連等の短期軽作業の請負、派遣等。
プロモーションの企画立案、運営管理等。
- (6) その他事業.....固定電話回線等（おとくライン等）の契約申込の取次ぎ。

3 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用（857 千円）の主なものは、親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

4 モバイル事業については、「【定性的情報・財務諸表等】4 . その他」に記載のとおり、従来、短期解約に係る手数料の返金額を、当社一次代理店事業については解約時の売上高から控除する方法により処理し、二次代理店事業においては解約時の売上原価とする方法により処理していましたが、当第3四半期連結会計期間より短期解約損失引当金として計上する方法に変更しております。この変更により、従来の方法と比して、売上高は 2,223 千円減少し、営業費用は 4,076 千円増加し、営業損失は 6,300 千円増加しております。

(参考)

前連結会計年度(自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 3 月 31 日)

	モバイル 事業 (千円)	オフィス サプライ 事業 (千円)	IT事業 (千円)	通信 サービス 事業 (千円)	人材事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高及び 営業損益									
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	13,833,457	5,059,460	186,966	250,939	3,743,478	238,984	23,313,286		23,313,286
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	66	11,729	27,186	5,876	1,871	1,491	48,222	(48,222)	
計	13,833,524	5,071,190	214,152	256,816	3,745,349	240,475	23,361,509	(48,222)	23,313,286
営業費用	13,492,214	5,022,466	262,794	276,905	3,801,522	312,353	23,168,257	(48,222)	23,120,034
営業利益又は 営業損失()	341,309	48,723	48,641	20,089	56,172	71,877	193,251		193,251

(注) 1 事業の区分は、商品、役務の種類・性質を考慮して区分しております。

2 各事業の主な商品等

- (1) モバイル事業.....移動体通信端末の販売及び通信サービスの契約申込の取次ぎ。
- (2) オフィスサプライ事業.....最終顧客への事務用品等の通信販売の取次ぎ。
- (3) IT事業.....ITソリューションサービス「小売パートナー」の販売等。
- (4) 通信サービス事業.....格安電話サービス事業。
- (5) 人材事業.....物流、建築、イベント関連等の短期軽作業の請負、派遣等。
プロモーションの企画立案、運営管理等。
- (6) その他事業.....Bフレッツ及びおとくラインの契約申込の取次ぎ。